

2018年度第3回外洋常任委員会 議事録

日 時 : 2018年(平成30年) 9月1日(土) 16:48~17:00

場 所 : 文京シビックセンター3F 会議室

出席者 : (理事)

馬場益弘副会長、坂谷定生常務、菊池邦仁、平松隆、宇都光伸、大島茂樹、中村和哉、
作田智恵子

(委員会)

ルール委員会外洋規則小委員会委員長 大村雅一

国際委員会外洋小委員会委員長 小林 昇

外洋計測委員会委員長 八木 達郎

外洋常任委員会事務局長 鈴木保夫

(順不同、敬称略) 計 12 名

議長 副会長 馬場益弘

記録 理 事 作田智恵子

議題

1. JSAF 主催、共同主催レースについて (報告)

ジャパンカップ 2018

エントリーが3艇だったので、規程に基づき中止とした。

第59回パールレース

7月25日台風12号の発生し、パールレースのコースを逆走するコースであったためレース実施に大きな影響を及ぼすことが懸念されたためレースを中止にした。すでにスタート側に集結していた艇においての被害は、人的には皆無で物的にも極微であった。

2. 外洋艇推進グループ組織図の確認

中澤さんに代わり金子純代さんがキールボート委員長に就任した。

配布資料に一部修正があった。

レース委員会外洋小委員会事務局 (正) 松石万季子 (誤) 清水教男

3. 外洋艇登録申込書、抹消届のデータ電子化の件

建屋移転に伴い書類の整理をする中、標記についての全ファイル17冊分を電子化したいとの説明があった。見積額436,100円。

これに対し、取っておく必要はない、NO1からのデータは貴重なものなのでデータ化したほうが良い、残すならPDFではなくエクセル等のデータのほうが良いのではないかと等々意見があった。残すにしても処分するにしても理由を明確にする必要があるため、また、しばらく時間もあるので、次回の常任委員会でも団体長会議でも検討する。

4. 外洋艇および外洋系セーラーの現状について

JSAF 発足以来、外洋登録艇も外洋会員も減少化。

発足当時から登録艇は 3 割減、会員数は半数になっている。また高齢化が進み、今後は心配される。外洋常任委員会での検討事項のみならず、外洋全体として、外洋ヨット人口をどう増やすか、外洋艇登録をどう増やすかもっと危機感を持ち対策を真剣に考える必要がある。そのために、次回団体長会議の議題とし、減少傾向にあることの危機感を伝え共有し、新規外洋セーラーの確保、学連セーラーのキールボートへの移行等々、会員増強を検討することにした。

5. 専門委員会報告

外洋計測委員会：八木委員長

上半期 IRC 及び ORC 登録定数の報告があった。

国際委員会：小林委員長

ORC/IRC 採用の初の 2 つのレーティングを使用しての世界選手権の報告

フラッグリレー：坂谷常務理事

レースは中止になったが前夜祭(=残念会)で昨年優勝艇のクレセントに託し江の島まで運んだ。

6. その他

① H31 年度 調査研究テーマの募集について：大村事務局長

小型船舶の安全向上のための調査研究テーマ募集の説明があった。

次回外洋常任委員会は 9 月 20 日(木)18:30-20:30 トーヨーアサノ

以上

文責：作田智恵子